KIMOTO

2026年３月期 第２四半期（中間期） 決算補足資料

株式会社 き も と

2025年10月30日

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 第２四半期（中間期） 決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

4　デジタルツイン事業

5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 第２四半期（中間期）実績　前年比［連結］

■通信機器・産業機器向け製品は米国の関税措置による影響がほとんどなかったこともあり堅調でしたが、自動車産業全体の低迷により輸送機器向け製品が伸び悩み、バッテリー関連も顧客による生産計画見直しで想定を下回りました。

単位：百万円

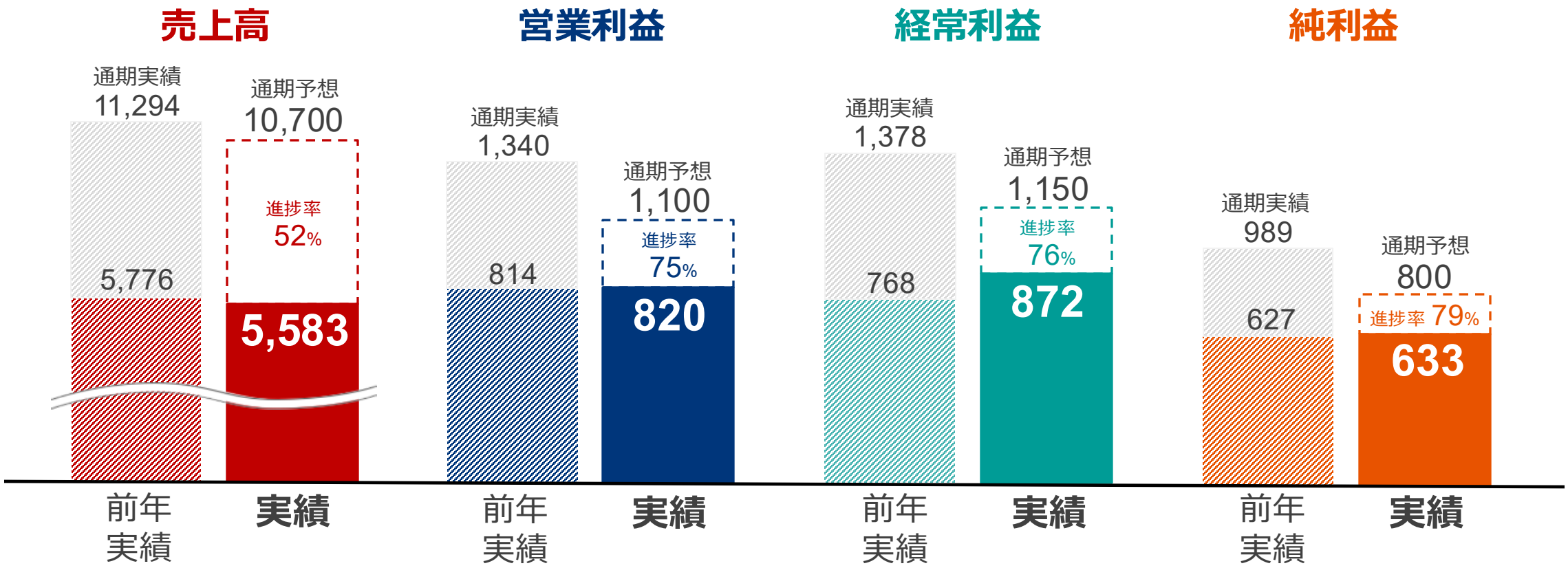
	2026年３月期 通期 予想	2026年３月期 中間期	2025年３月期 中間期	増減	増減率(%)
売　上　高	10,700	**5,583**	5,776	▲ 192	▲ 3.3
売上総利益	-	**2,332**	2,332	0	0.0
販売管理費	-	**1,512**	1,517	▲ 5	▲ 0.4
営業利益	1,100	**820**	814	6	0.8
経常利益	1,150	**872**	768	104	13.6
税引前利益	-	**872**	795	76	9.6
純　利　益	800	**633**	627	6	1.0
一株当たり純利益（円）	17.40	**14.05**	13.60	-	-

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年・予想比［連結］

■通信機器向け製品や工程材料向け製品が米国の関税措置の影響をほとんど受けず堅調に推移したことに加え、産業機器向けの一部製品の前倒し受注が発生したこともあり、高付加価値製品の売上が増加し、利益が予想を上回りました。

単位：百万円

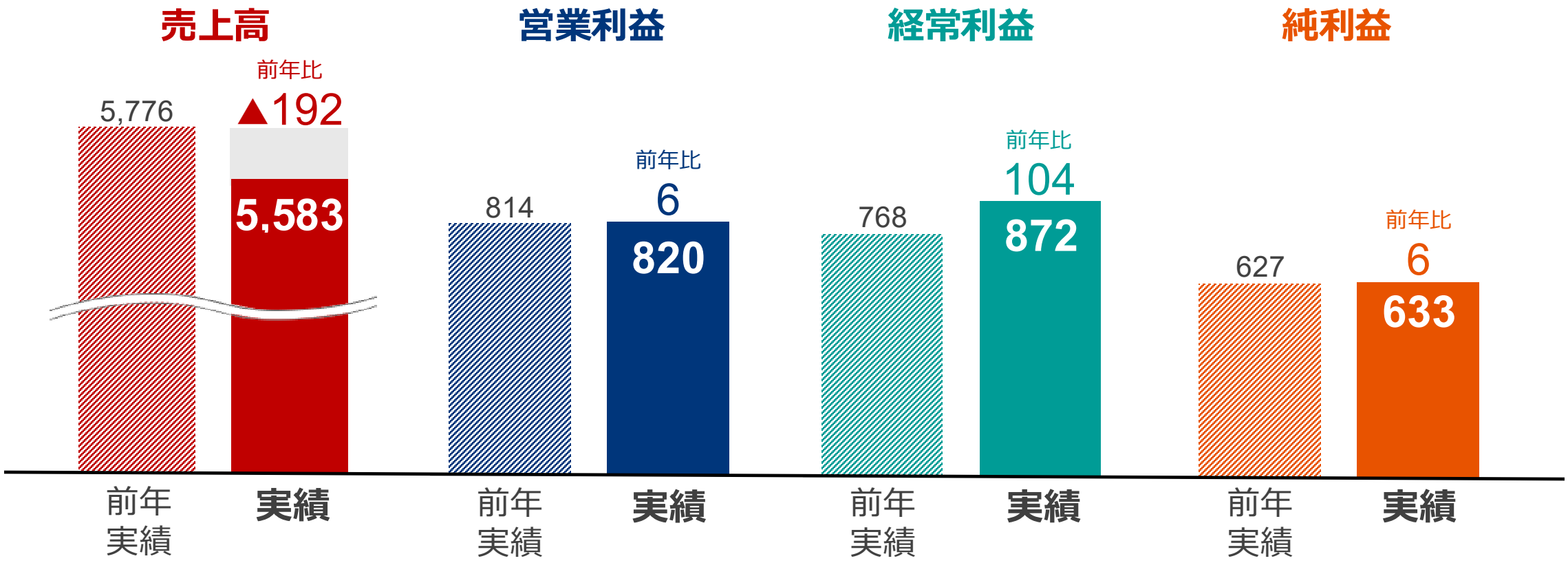


Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年比・主な変動要因［連結］

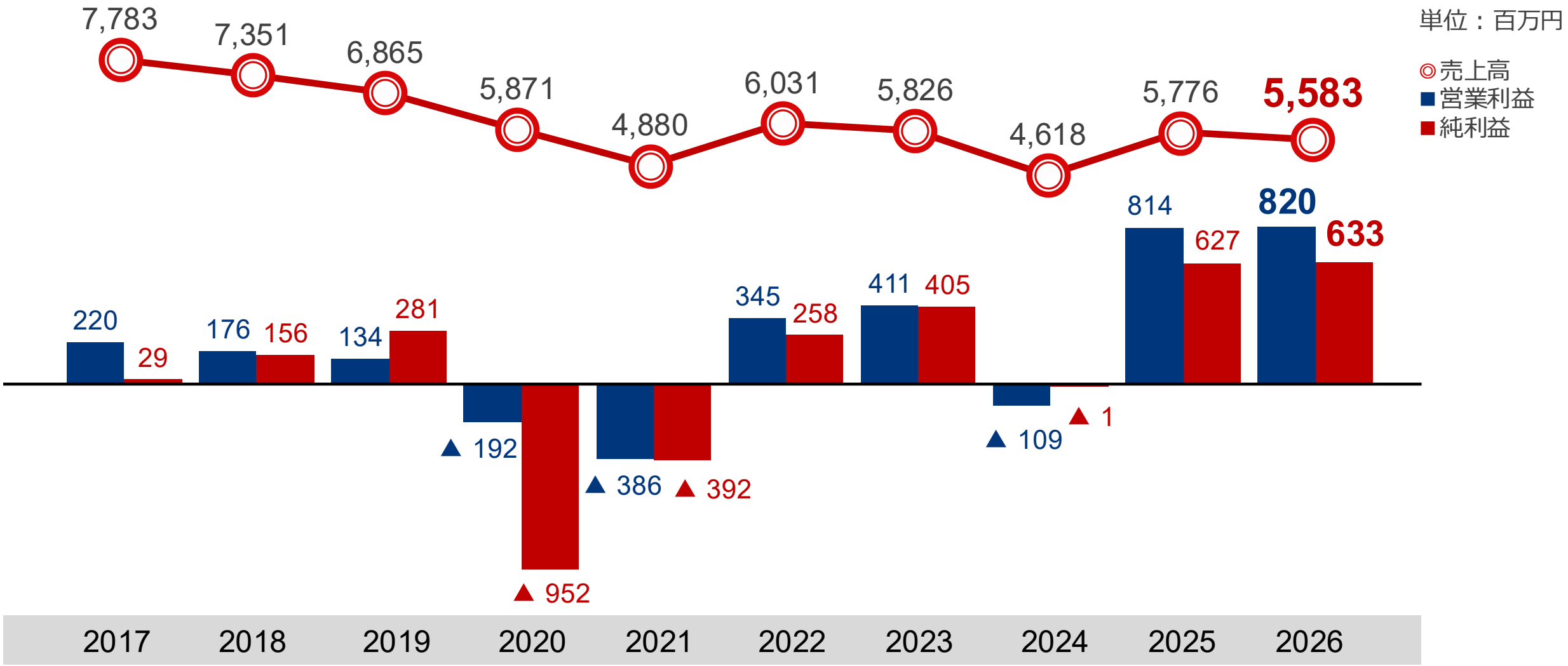
■通信・産業機器向け製品は堅調でしたが、自動車産業全体の低迷や米国での稼働率低下、3D・LiDAR関連の受注減により一部収益が減少。高付加価値製品の拡販と効率化で収益性を維持しました。

単位：百万円



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

売上高・営業利益・純利益［連結］ 2017年３月期～2026年３月期 中間期比較



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
売上高	2026年３月期 中間期	5,243	319	264	35
		1% DOWN	34% DOWN	34% DOWN	34% DOWN
	2025年３月期 中間期	5,284	486	398	54
営業利益	2026年３月期 中間期	963	▲105	▲6	▲36
	2025年３月期 中間期	829	▲24	37	▲30

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループトピックス

日本

通信機器向けでは遮光・粘着製品が堅調に推移し、輸送機器向けでは自動車産業全体の低迷により拡散製品が低調となりました。バッテリー関連も生産計画見直しで想定を下回りましたが、産業機器向けは価格改定前の前倒し需要で堅調を維持しました。

アメリカ

新規案件の失注で苦戦していますが、収益改善に向けて事業構成の見直しと営業戦略の再構築を進めています。

スイス

自動車産業全体の低迷の影響により、輸送機器向け製品の出荷が低迷しました。

中国

3D関連案件は減少していますが、点群図化の受注は増加中で、新規案件獲得に向け技術力強化と生産体制整備を進めています。

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

単位：百万円

	2025年３月期 中間期	構成比	2026年３月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	5,177	98.0%	**5,161**	**98.4%**	▲ 16	▲ 0.3%
通信機器	2,256	42.7%	**2,342**	**44.7%**	86	3.8%
輸送機器	1,145	21.7%	**966**	**18.4%**	▲ 179	▲ 15.7%
産業機器	596	11.3%	**845**	**16.1%**	249	41.8%
その他	1,178	22.3%	**1,006**	**19.2%**	▲ 171	▲ 14.6%
デジタルツイン事業	106	2.0%	**81**	**1.6%**	▲ 24	▲ 23.3%
3D	31	0.6%	**17**	**0.3%**	▲ 13	▲ 44.8%
2D	38	0.7%	**37**	**0.7%**	0	▲ 0.2%
コンサルティング	0	-	**8**	**0.2%**	8	2,425.1%
その他	37	0.7%	**17**	**0.3%**	▲ 19	▲ 51.9%

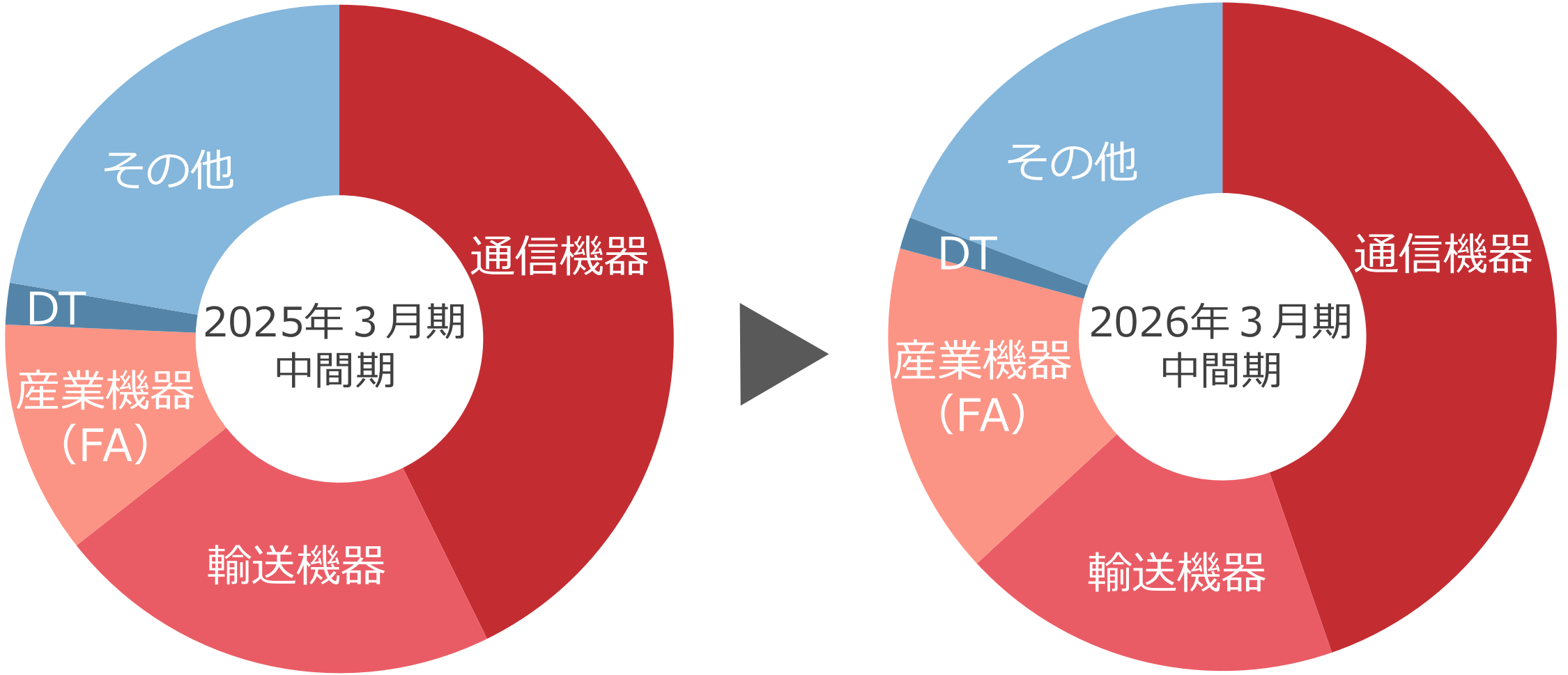
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

■通信機器向け製品が堅調、また産業機器向け製品についても売上に貢献しました。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

単位：百万円

	2025年３月期 中間期	構成比	2026年３月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	486	100.0%	**319**	**100.0%**	▲ 166	▲ 34.2%
通信機器	119	24.6%	**73**	**23.1%**	▲ 45	▲ 38.2%
輸送機器	136	28.0%	**114**	**35.8%**	▲ 21	▲ 15.9%
その他	230	47.4%	**131**	**41.1%**	▲ 99	▲ 43.0%

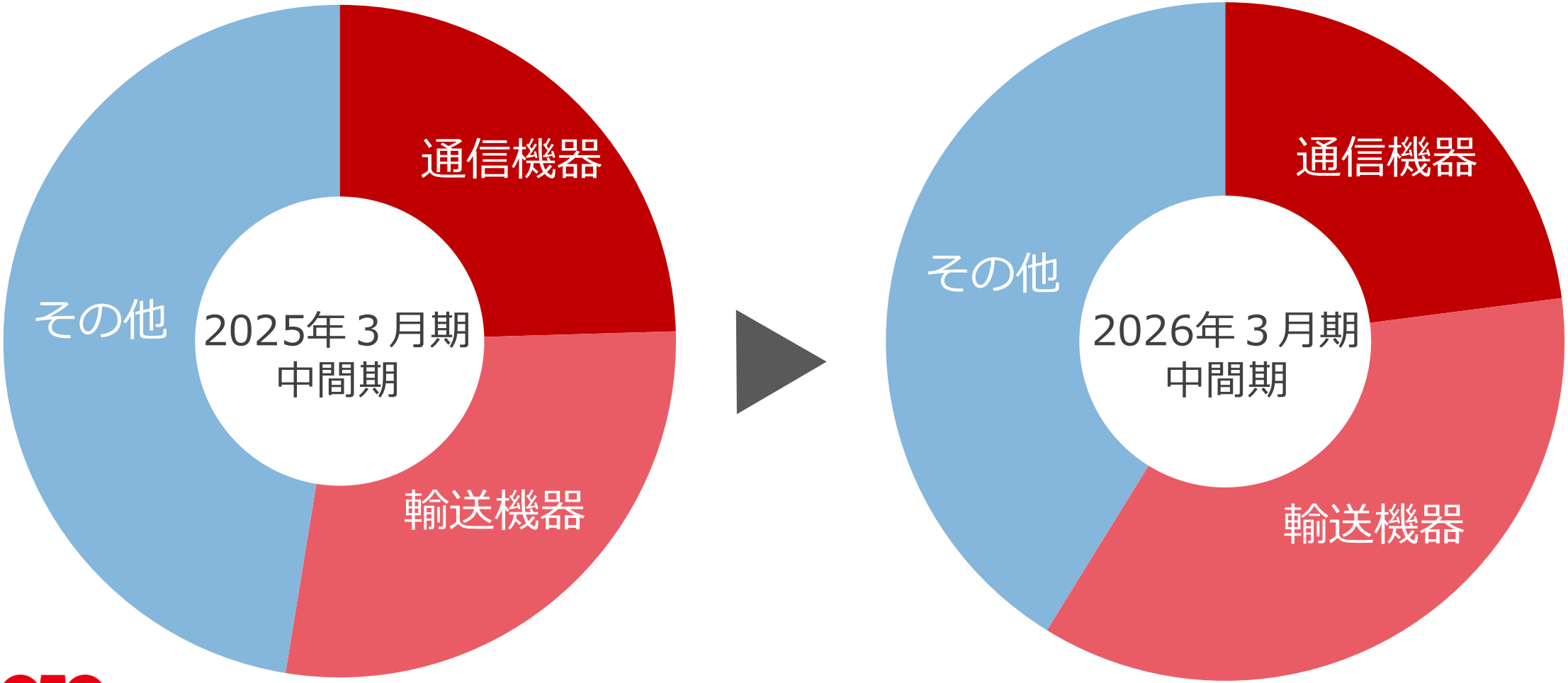
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

■自動車産業全体の低迷により輸送機器向け製品が低調、その他新規案件の失注も売上に影響いたしました。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

単位：百万円

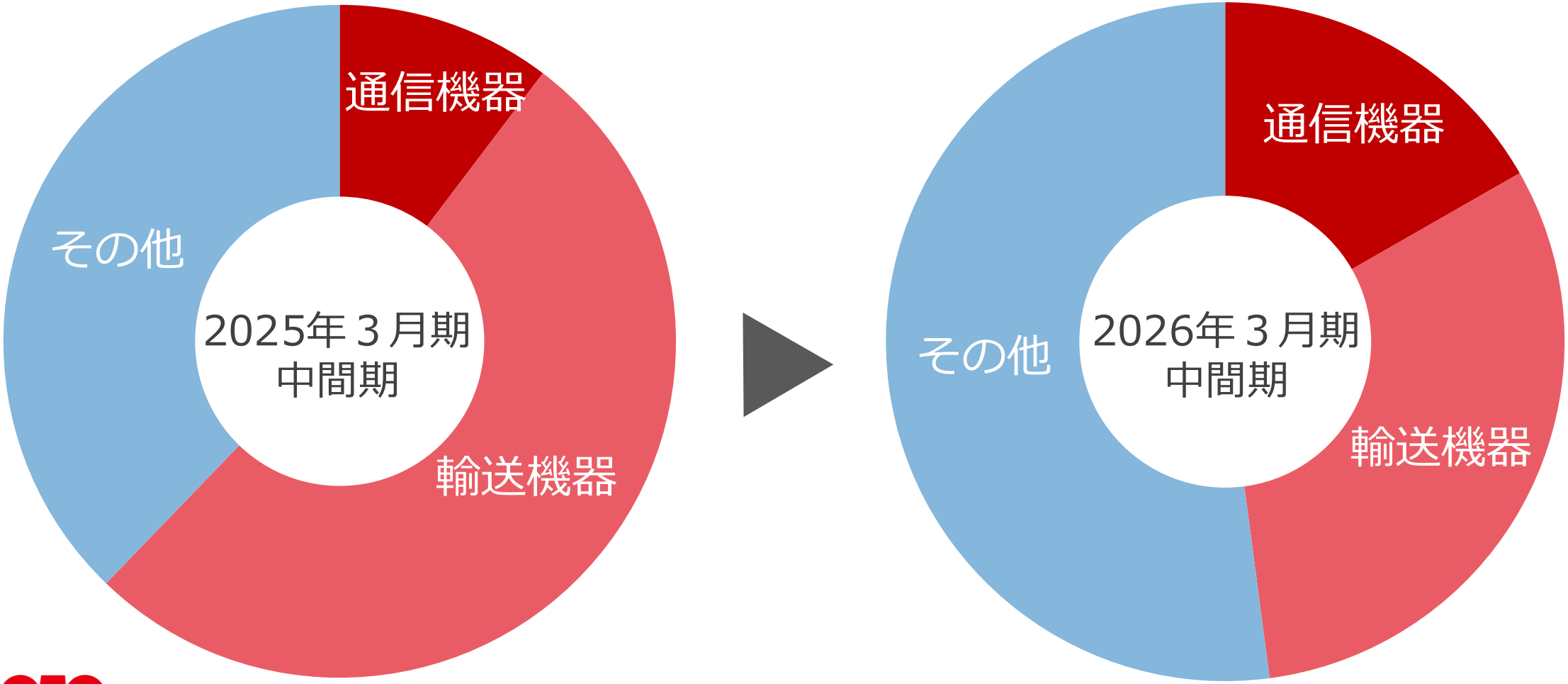
	2025年３月期 中間期	構成比	2026年３月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	398	100.0%	**264**	**100.0%**	▲ 133	▲ 33.6%
通信機器	41	10.4%	**44**	**17.0%**	3	8.6%
輸送機器	206	51.7%	**82**	**31.2%**	▲ 123	▲ 59.9%
その他	150	37.9%	**137**	**51.8%**	▲ 13	▲ 9.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

■自動車産業全体の低迷の影響により輸送機器向けの出荷が減少いたしました。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

単位：百万円

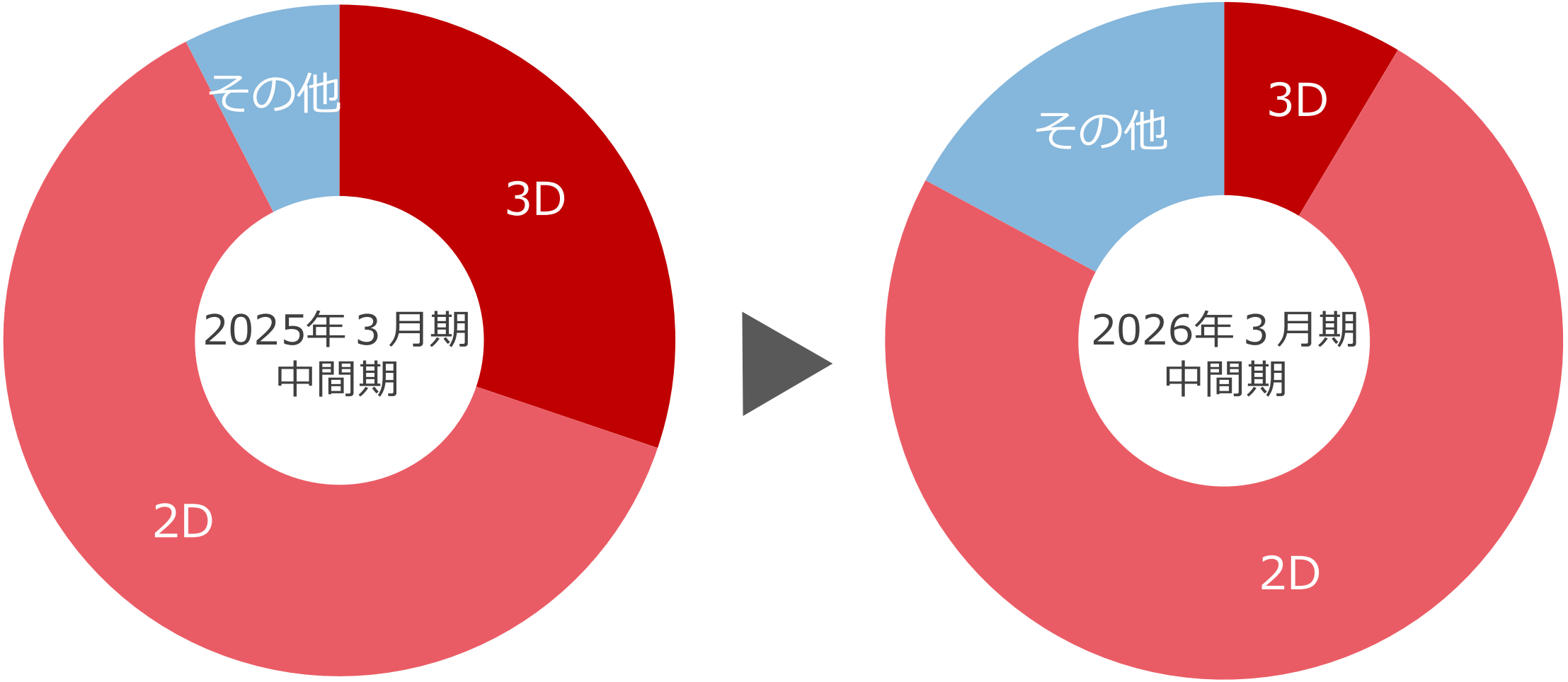
	2025年３月期 中間期	構成比	2026年３月期 中間期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	54	100.0%	**35**	**100.0%**	▲ 18	▲ 33.8%
3D	16	29.6%	**3**	**9.7%**	▲ 12	▲ 78.4%
2D	33	61.4%	**26**	**73.5%**	▲ 6	▲ 20.8%
その他	4	9.0%	**6**	**16.9%**	1	24.6%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

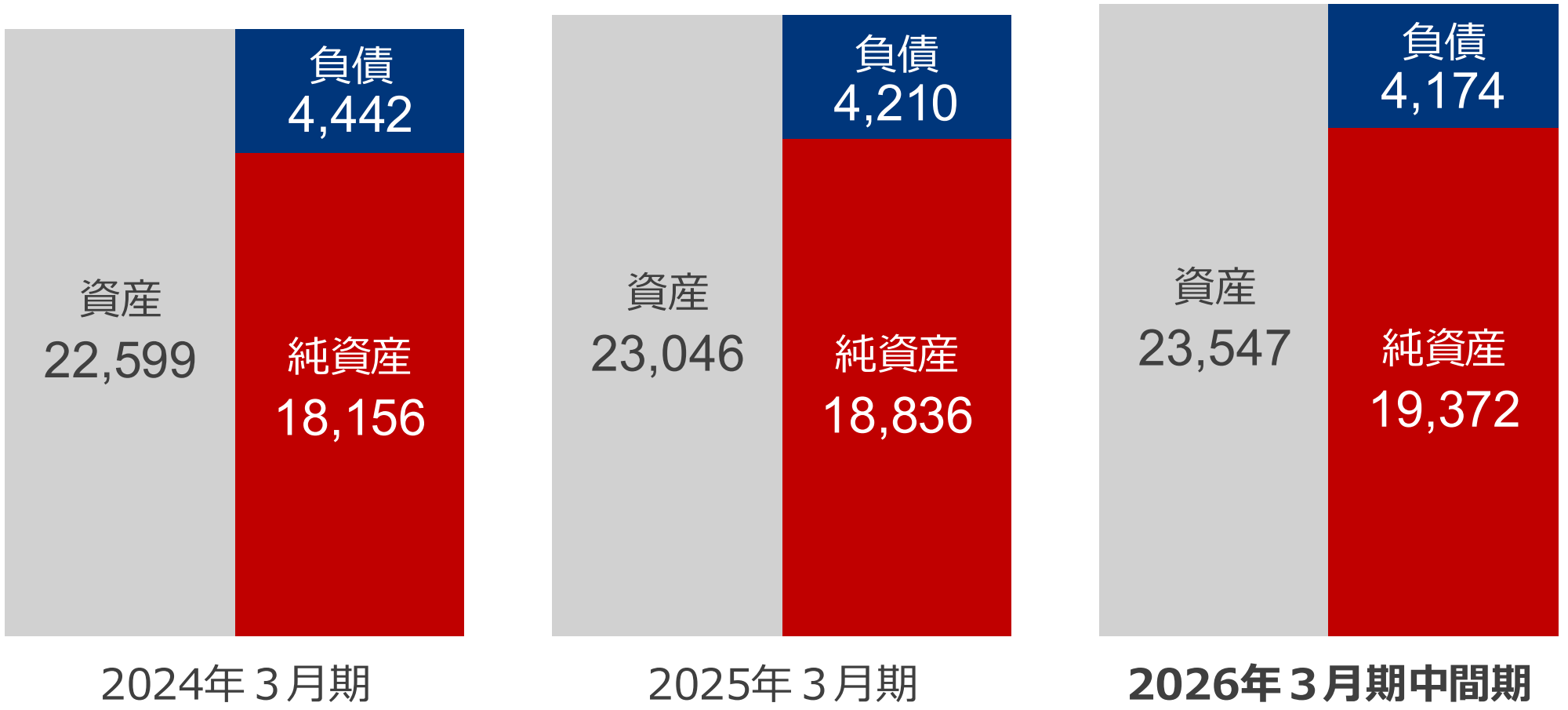
■3D関連案件とソフトウェア開発およびLiDARの受注が減少したことにより売上、利益ともに低調となりました。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

貸借対照表［連結］

2024年３月期～2026年３月期中間期 比較



単位：百万円

2024年３月期　2025年３月期　**2026年３月期中間期**

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 第２四半期（中間期） 貸借対照表［連結］ 主な変動要因

単位：百万円

資産

対前期末比
501

受取手形及び売掛金
262

投資有価証券
77

工具器具備品
68

負債

対前期末比
▲35

未払法人税等
▲108

営業外電子記録債務
83

純資産

対前期末比
536

利益剰余金
408

為替換算調整勘定
93

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期第２四半期（中間期）決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

4　デジタルツイン事業

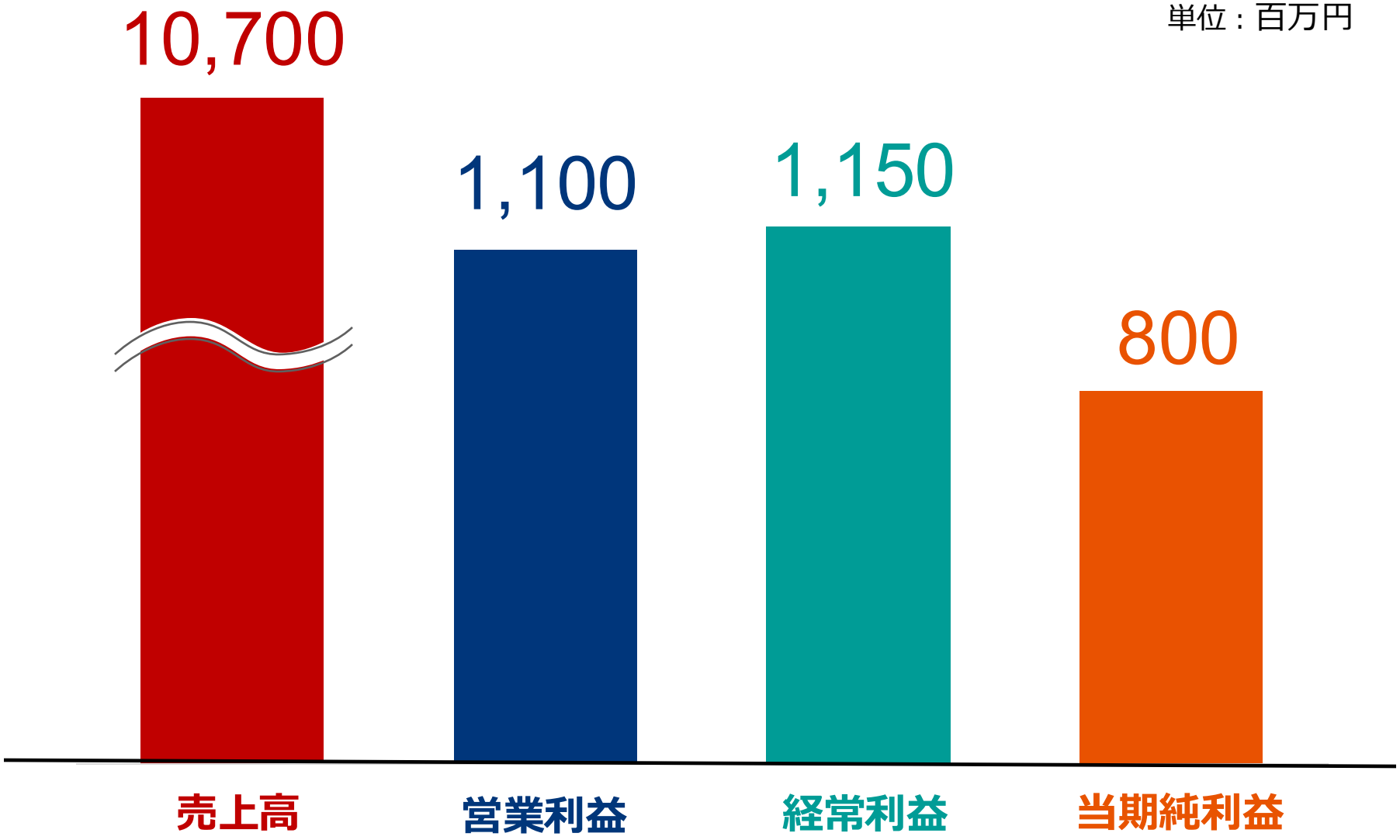
5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

通期業績予想 ［連結］

単位：百万円

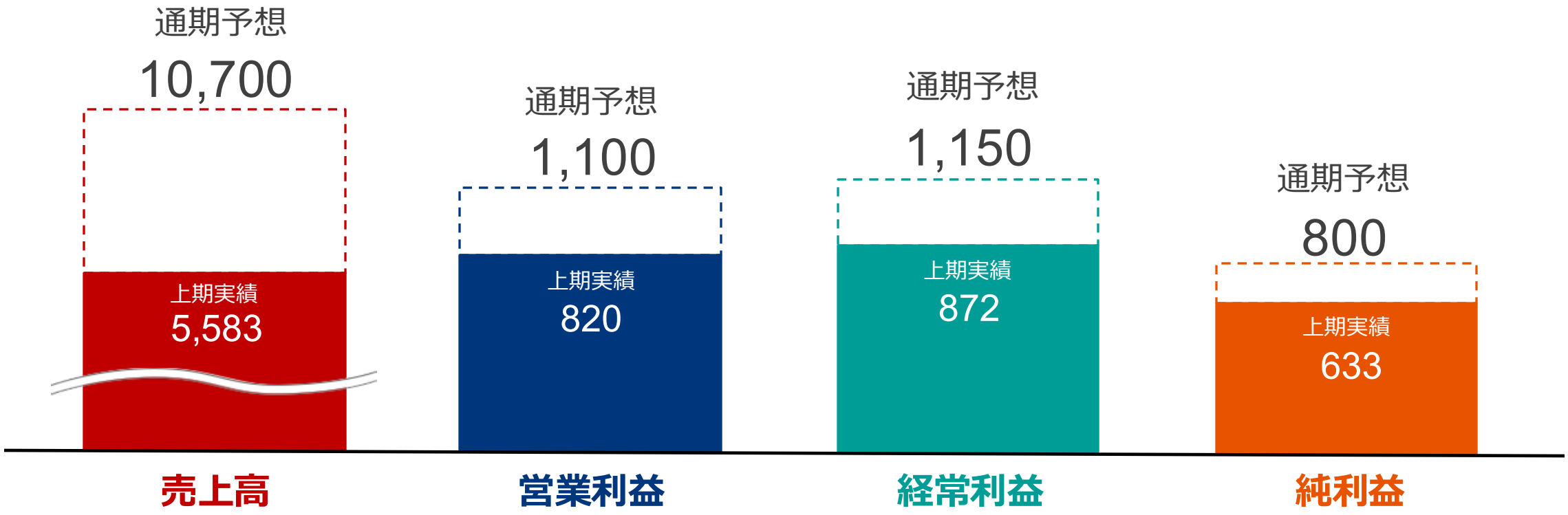


Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

通期業績予想 ［連結］

■ 当中間期業績は想定を上回る利益を計上したものの、上期には影響が見られなかった米国の関税措置の影響が下期以降に表面化することが予想されるほか、自動車産業全体の低迷からの回復見通しも依然として不透明であります。これらの状況を踏まえ、下期の事業環境や需要動向を慎重に見極める必要があると判断し、通期業績予想は据え置いております。

単位：百万円



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期第２四半期（中間期）決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

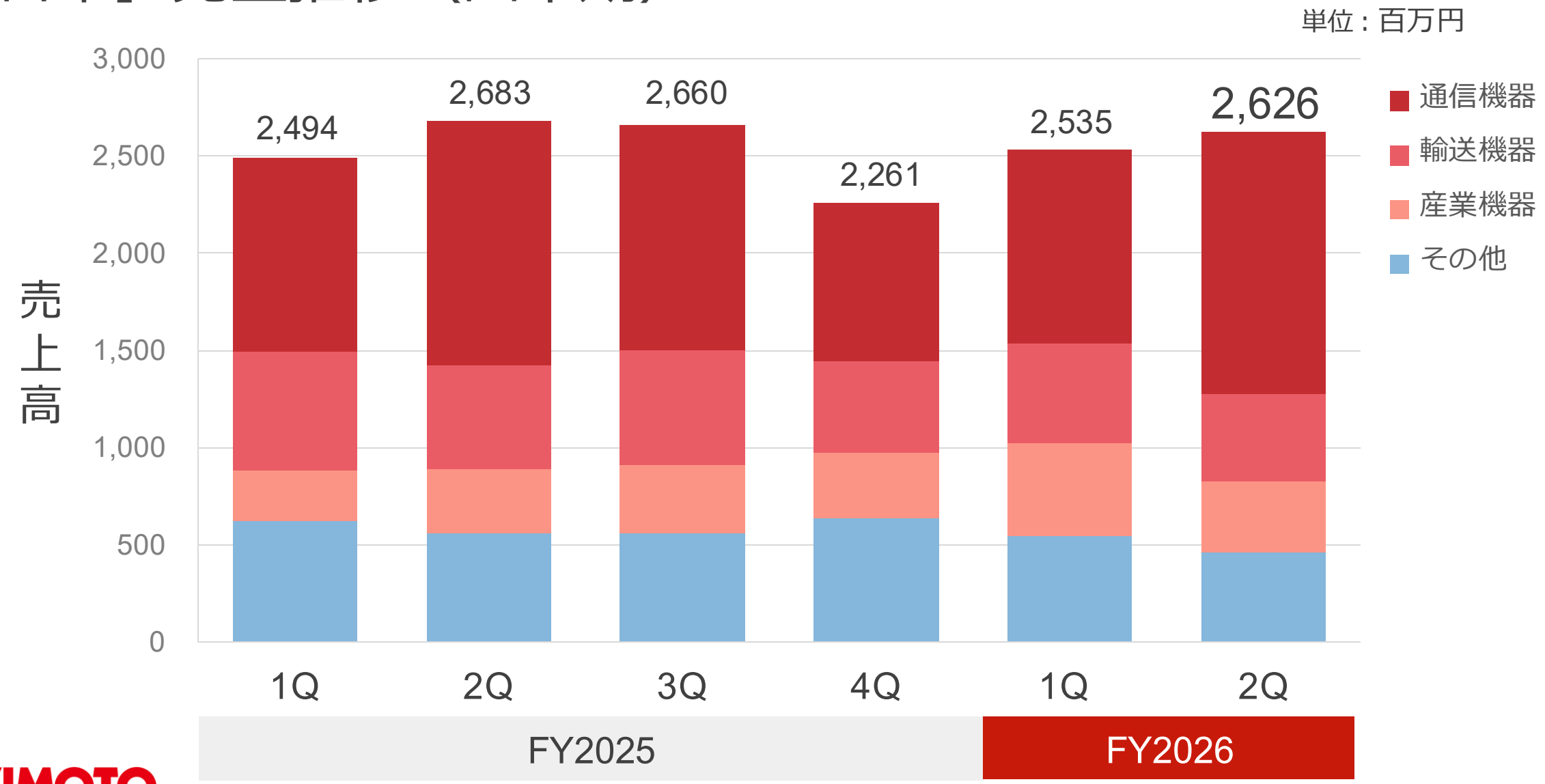
4　デジタルツイン事業

5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

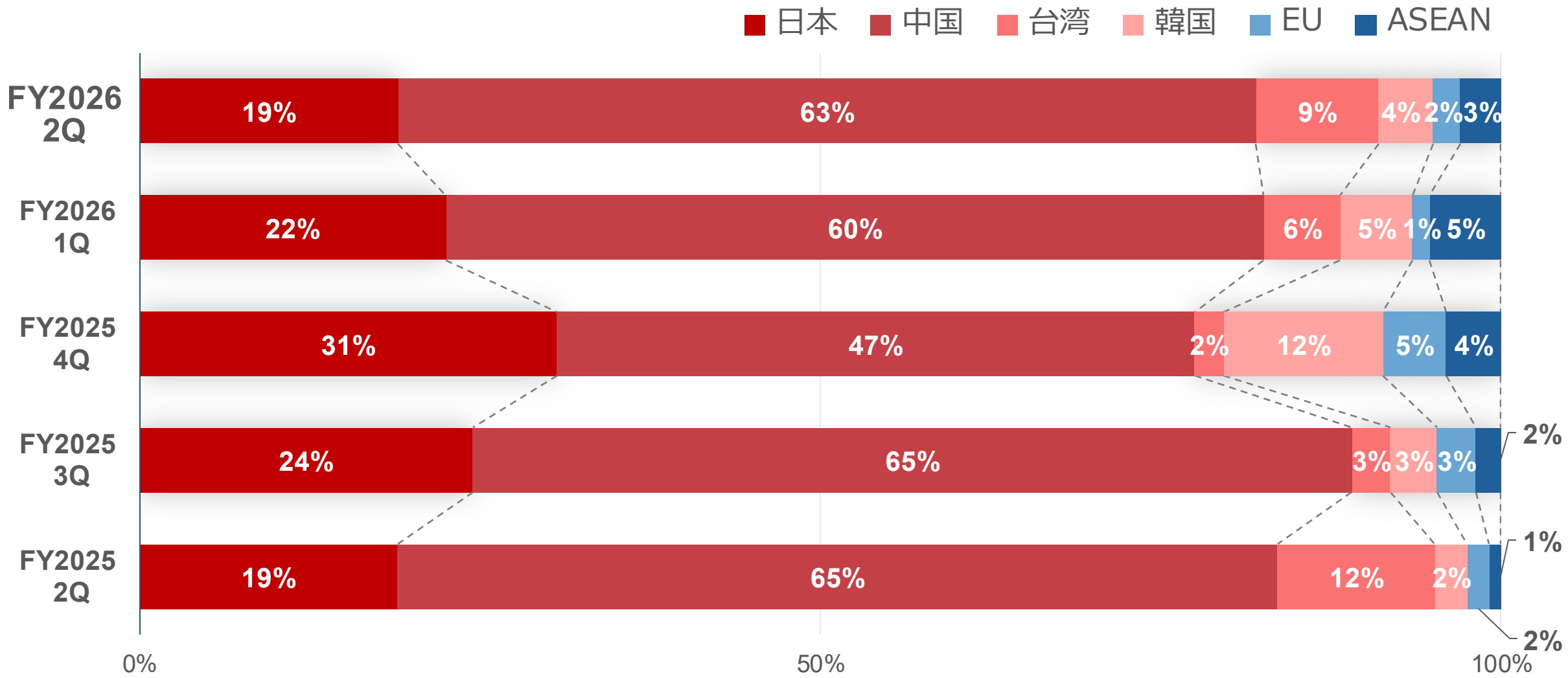
Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上推移（四半期）



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

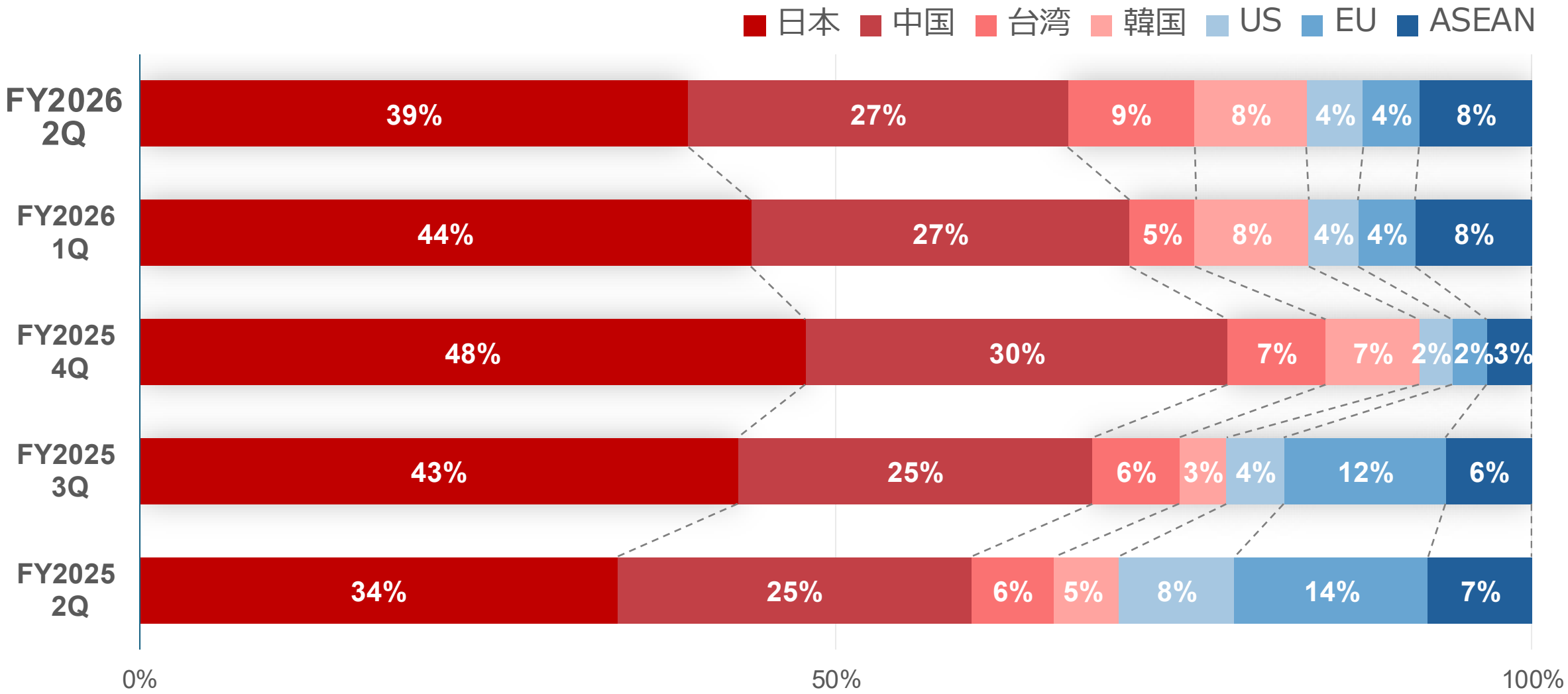
【日本】通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

KIMOTO
Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

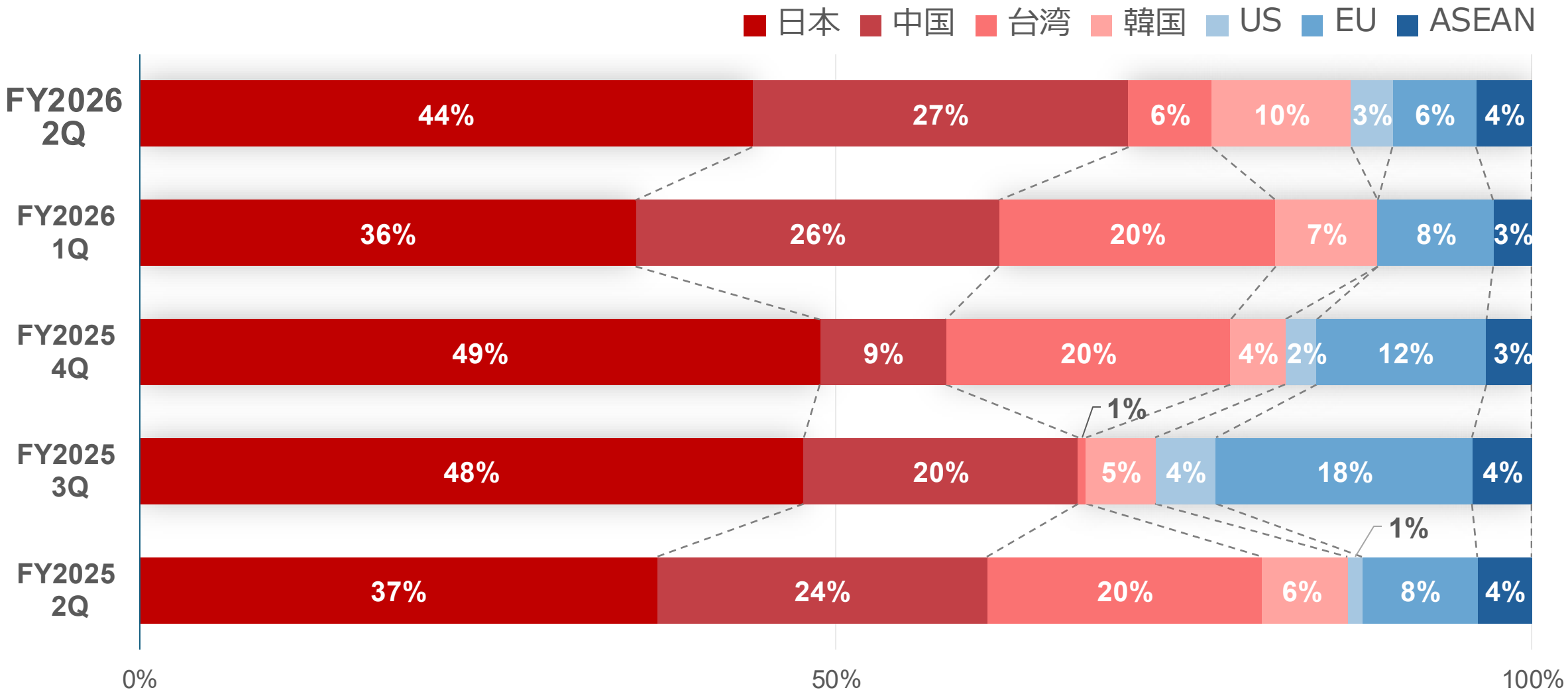
【日本】輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】産業機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期第２四半期（中間期）決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

4　デジタルツイン事業

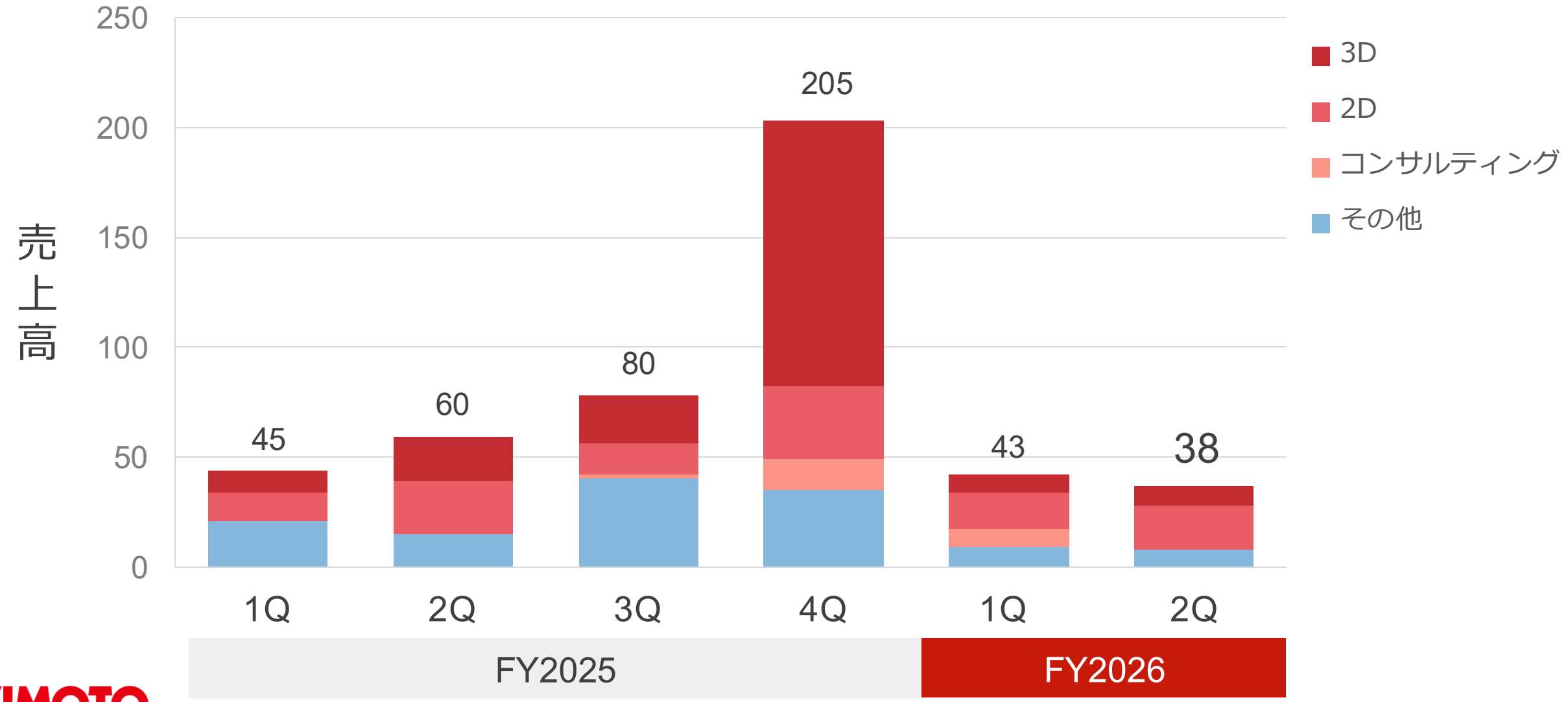
5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上推移（四半期）

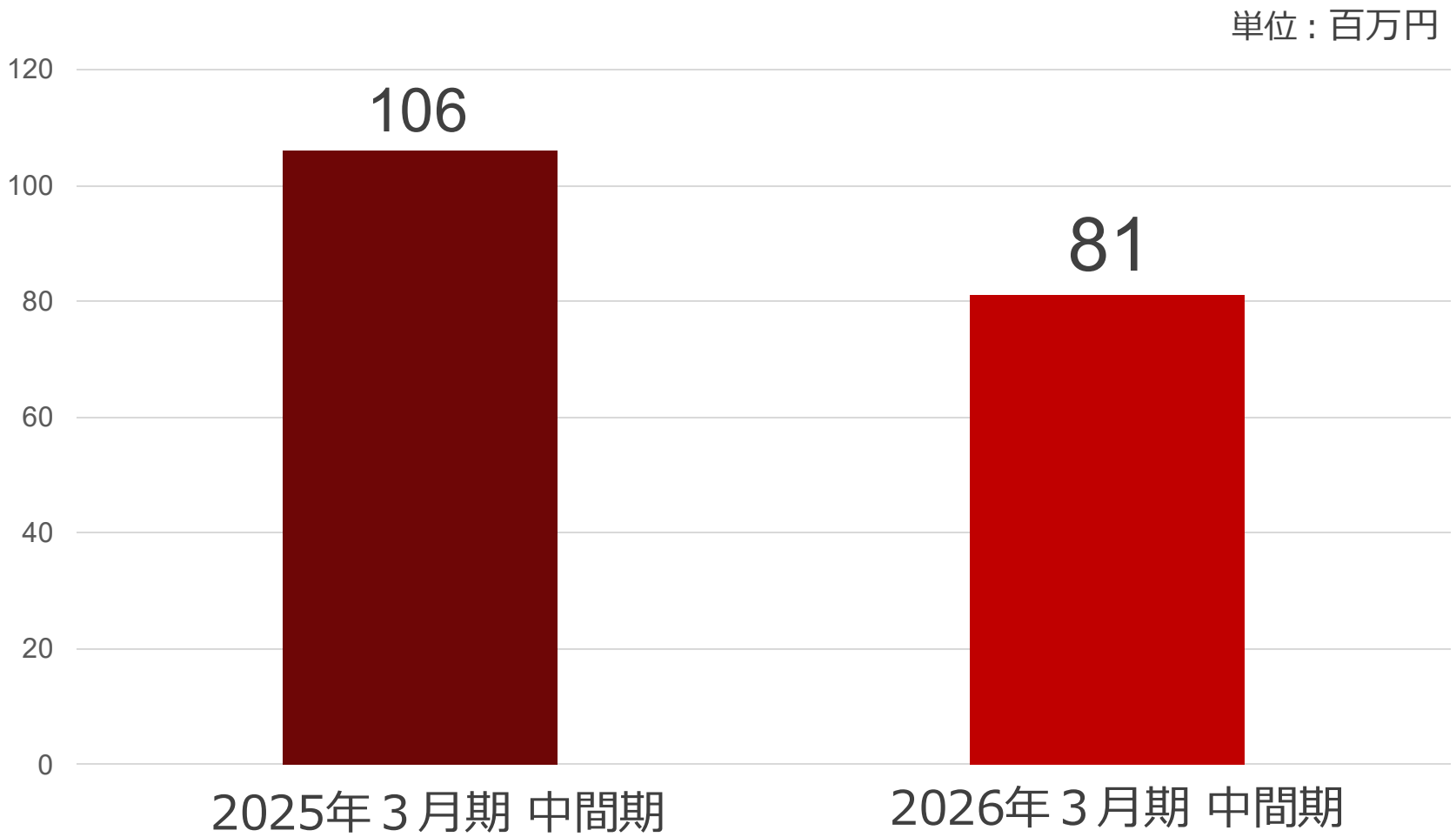
単位：百万円



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高

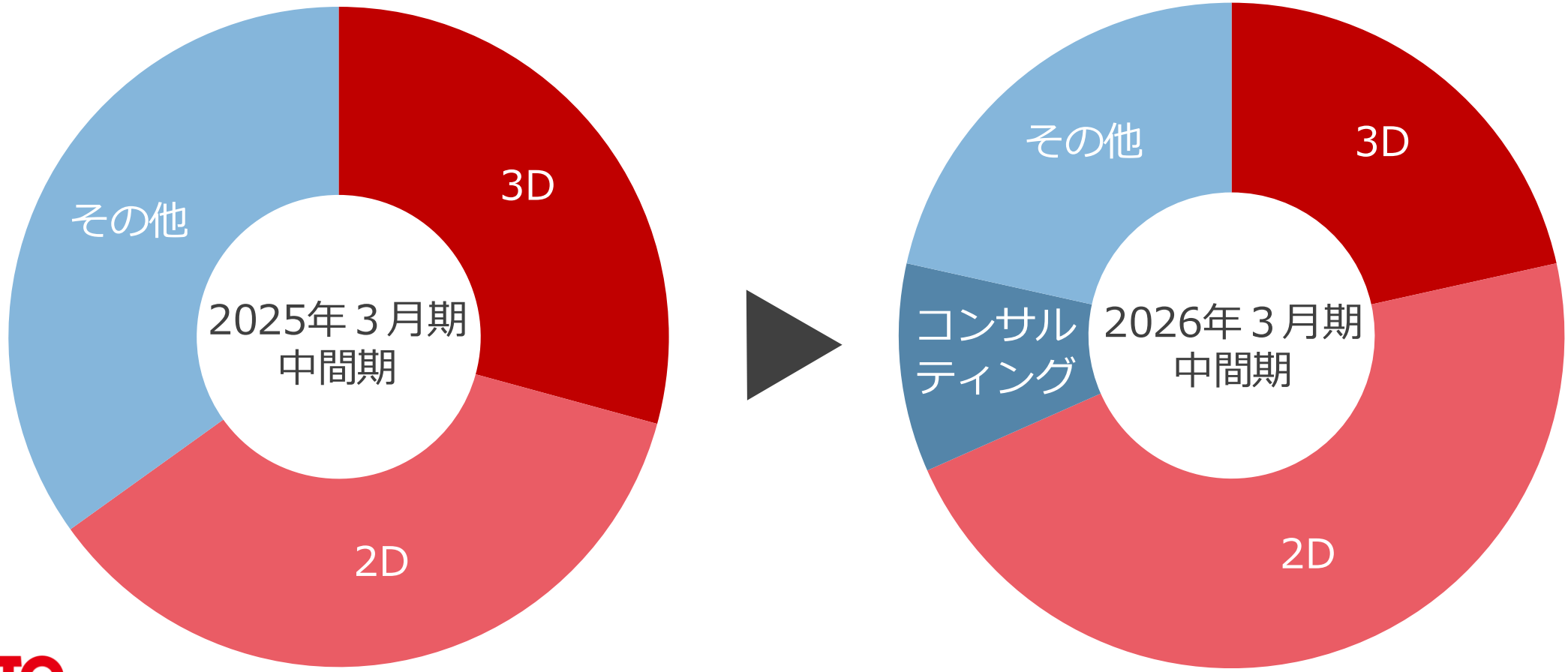
■3D関連において、BIM/CIMモデル作成業務、LiDARの案件が減少傾向となっております。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高構成

■3D関連は引き続き課題となっております。コンサルティング関連では、働き方改革および製造DXに関する伴走支援の売上が増加いたしました。



Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 第２四半期（中間期）

1　2026年３月期第２四半期（中間期）決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

4　デジタルツイン事業

5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 第２四半期（中間期）の進捗

事業成長

・デジタルツイン事業　2028年３月期売上高 1,000百万円（目標）

複数の画像から3Dシーンを再構成する革新的な3D技術「ガウシアンスプラッティング」を活用した新サービス「SPLAT TWIN」は良好な反応を得ており、多方面から引き合いをいただいております。
コンサルティングサービスにおいては、働き方講演会の開催やイベントへの登壇を通じて、商談機会の拡大を図っています。

・環境対応　2028年３月期CO2排出量 65%減（目標）

茨城工場において、エネルギー使用量の計測・見える化を開始し、運用最適化に向けた取り組みを進めています。これにより、省エネ分析の強化と環境負荷のさらなる低減を図っています。

・高機能性液　2028年３月期売上高 300百万円（目標）

KIMOTOのコア技術を活かし、多様な素材・機能・塗工方法に対応した高機能性液を海外展示会で紹介し、ワールドワイドな市場への展開を進めています。

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 第２四半期（中間期）の進捗

企業マネジメント

・IT・DX戦略

IT・DX戦略の一環として、AIを活用した業務支援ツールを導入し、社内勉強会を通じて活用促進を進めています。生産性の向上と付加価値業務への集中を進めています。
中期経営計画に掲げたDX推進の施策として、着実に取り組みを進行中です。

・人材戦略

世界的な視野と実行力を備えたマネジメント人材の育成を目的に、グループや部門の枠を超えた研修プログラムを実施しています。多様な人材が学び合う環境を通じ、次世代リーダー候補の視座を高め、グループ全体での成長を加速させます。

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

第６次中期経営計画 資料および動画のご案内

▶ 資料PDFはこちらから

https://www.kimoto.co.jp/application/files/9117/5015/1736/20262028.pdf

▶ 動画のご視聴はこちらから

https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 第２四半期（中間期） 決算について

2　2026年３月期 通期業績予想

3　高機能材料事業

4　デジタルツイン事業

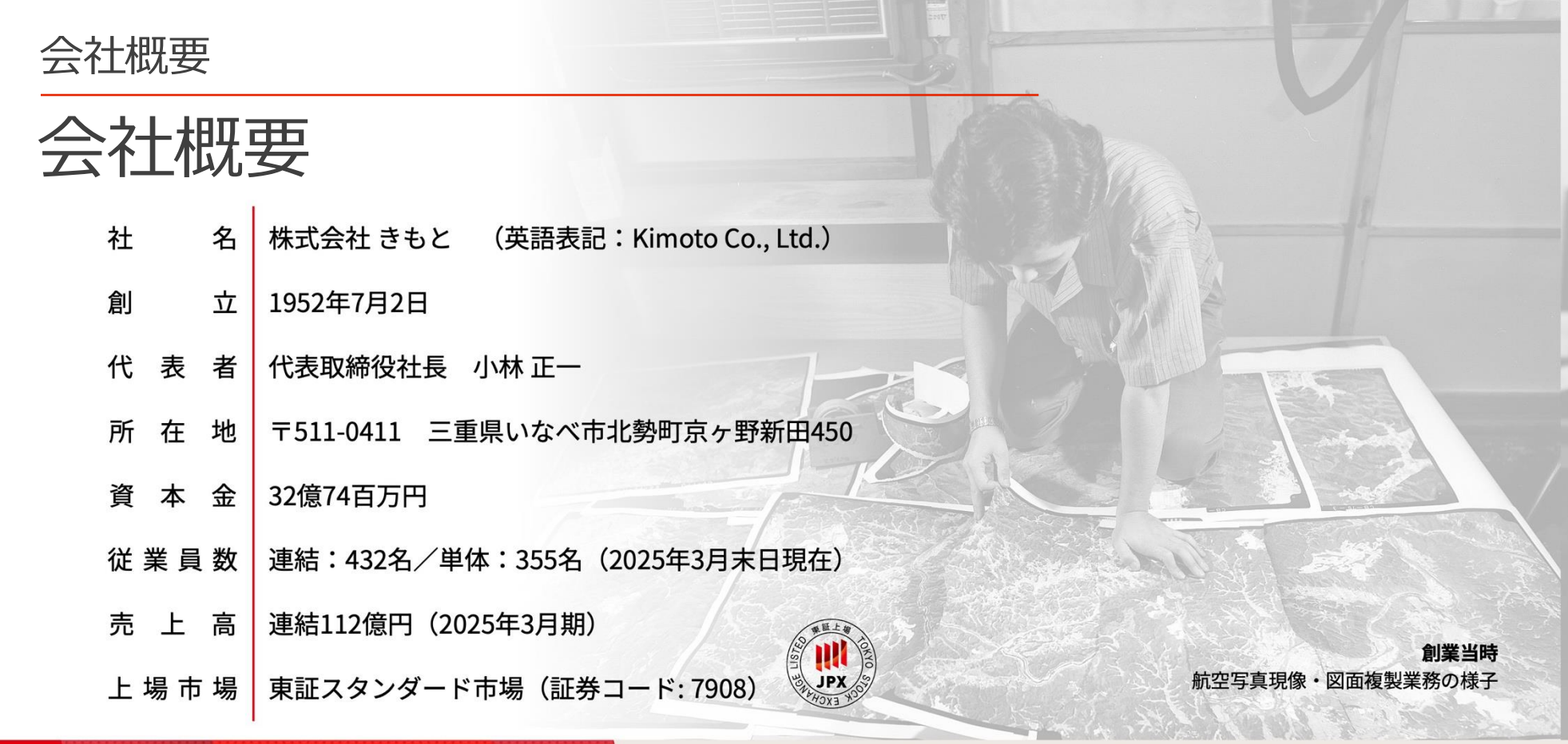
5　第６次中期経営計画進捗

6　会社概要

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

会社概要

社　　名	株式会社 きもと　（英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創　　立	1952年7月2日
代 表 者	代表取締役社長　小林 正一
所 在 地	〒511-0411　三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資 本 金	32億74百万円
従業員数	連結：432名／単体：355名（2025年3月末日現在）
売 上 高	連結112億円（2025年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード: 7908）



創業当時
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長
木本 氏仁

おかげさまで
数々の賞と選定を
いただいております

令和5年度 Nextなでしこ
共働き・共育て支援企業
（経済産業省選定）

日経サステナブル総合調査
スマートワーク経営編 3.5星
（日本経済新聞社）

日経サステナブル総合調査に
基づくスマートワーク経営に
優れた企業として選出
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等
  国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より
  国土交通大臣表彰を受賞

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

沿革

2024 技術開発を三重工場へ移管

2024 本店移転（三重県いなべ市）

2021 株主総会早期化

2017 アメリカと日本に少量塗工機を新設

2013 本店移転（埼玉県さいたま市）

2011 三重県いなべ市で地域貢献の一環として「きもとファーム」プロジェクトをスタート

2009 働き方改革スタート

2006 東京証券取引所第一部指定

1991 中国に「瀋陽木本數据有限公司」設立（現・データセンター）

1985 アメリカに製造工場「KIMOTO TECH,INC.」設立

1979 三重県員弁郡北勢町（現：いなべ市）に三重工場建設

1974 スイスに販売会社「KIMOTO AG」設立

1969 茨城県総和町（現：古河市）に茨城工場建設

1967 「株式会社きもと」に商号変更

1955 湿度伸縮や経年劣化に強い「AKケント紙」を販売

1952 「有限会社きもと商会」創立

KIMOTO

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

国内・海外拠点

- 国内主要拠点
- 海外主要拠点
- リモート拠点

国内 *Japan*

三重県／三重工場

コーティングマシン

塗工幅	MAX 1,600mm
塗膜厚み	0.5μm～40μm

Clean Class
作業エリア Class 1,000 ／ コーティングマシンエリア Class 1,000 ／ コーティングヘッドClass 100

茨城県／茨城工場

サンドブラストマシン

加工幅	MAX 1,300mm
加工厚み	25μm～350μm
加工粗さ	0.3μm～0.8μm

少量塗工機「APOLO」

塗工幅	MAX 300mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

海外 *Overseas*

アメリカ／ジョージア州

コーティングマシン「Line2」

塗工幅	MAX 1,550mm
塗膜厚み	MAX 100μm
塗工	ダイ、グラビア、バー

少量塗工機「LC3」

塗工幅	MAX 770mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

中国／瀋陽

データセンター

- BIM/CIMデータ作成
- 3Dデータ作成
- 製造業DX向けデータ作成
- アプリケーション開発

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

事業内容

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTO

つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性がございます。

Copyright © 2025, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved